

한통련 뉴스레터

제101호

発行:在日韓国民民主統一連合(韓統連)
〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方は chuo@korea-htr.org までご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●国民のパワーで内乱首謀者・尹錫悦を罷免・断罪し内乱勢力を清算しよう！



憲法裁判所で發言する尹錫悦

国会側、迅速な罷免要求

尹錫悦(ユン・ソンニョル)を弾劾訴追した国会側の代理人団共同代表を務める金二洙(キム・イス)弁護士は1月21日、憲法裁判所で同日開かれた弾劾審判の第3回弁論に先立ち、「尹大統領は元日に(自身の支持者ら)デモ隊に対し『皆さんと最後まで戦う』とメッセージを出して以来、一貫して司法システムを否定している」と指摘した上で、「迅速な弾劾審判による大統領の罷免が崩れゆく法治主義回復のための近道」との立場を示した。

金氏は、被請求人(尹錫悦)が自身を支持する勢力を「愛国市民」として扇動しているとし、司法システムの不正行為が19日にソウル西部地裁で起こった同氏支持者らによる暴動につながったと主張した。

尹錫悦、弾劾審判弁論で発言

尹錫悦は21日、憲法裁判所(憲裁)の弾劾審判の第3回弁論に初めて出席し、△非常戒厳令の解除要求決議を妨害するため、議員を国会から引きずり出すよう指示したことはない△戒厳の布告令についても執行の意思や実行計画などはなかった△戒厳宣言の際に中央選挙管理委員会に軍を投入したのは、不正選挙を暴くためではなく選管委の電算システムの点検のためと主張した。

23日の第4回弁論では、△(国会は)失敗した戒厳だと主張しているが、失敗した戒厳ではない△(戒厳は)野党に対する警告ではなく、主権者の国民に向けてしたものと主張。

2月4日の第5回弁論では、戒厳宣言に関し「実際に何も起きなかった」と主張した。

検察、尹錫悦を内乱罪で起訴

検察は1月26日、尹錫悦を内乱罪などで起訴した。韓国で現職大統領が起訴されるのは初めて。

検察は大統領が不訴迫特権を持つ職権乱用権利行使妨害の罪は適用しなかった。

検察は「これまで捜査した共犯事件の証拠資料、警察が捜査した証拠資料などを総

合的に検討した結果、起訴することが相当だと判断した」と明らかにした。その上で、「証拠隠滅の恐れが解消できないことなどを考慮し、拘束期間の満了前に起訴した」と説明した。

尹錫悦は違法な非常戒厳を宣言して武装した戒厳軍を国会に投入するなど、国憲を乱す目的で暴動を起こした罪に問われた。政界の要人や中央選管委の職員を逮捕しようとした罪にも問われている。

尹錫悦側は罪を全面的に否認している。

与党・大統領室、尹錫悦と面会

内乱罪で起訴されソウル拘置所に収容されている尹錫悦は2月3日、与党「国民の力」の執行部メンバー、権寧世(クォン・ヨンセ)非常対策委員長と権性東(クォン・ソンドン)院内代表らと面会した。

尹錫悦は戒厳宣言の正当性について説明し、権両氏は国会状況や憲裁の審理の偏り、憲裁の偏った裁判官に対する懸念について話したという。

大統領室高官や与党議員らによる尹錫悦との面会が続いている。

「内乱終息・憲法守護 円卓会議」提案

祖国革新党の金宣叟(キム・ソンミン)代表権限代行は2日、国会で開催した記者懇談会で、「共に民主党」など野党と市民社会団体に「内乱終息と憲法守護のための円卓会議」を提案した。

金氏は「内乱残党が政権を再び握れば、また戒厳令を宣言するだろう」「圧倒的な勝利で政権交代しなければならない」と述べた。また「2025年の政権交代は、強力な連帯と連合でわが社会の改革課題を正しく履行すべき」と主張した。

「共に民主党」と進歩党は歓迎の意を表し、

具体的な協議を進めようと応じた。

8・9・10次「汎市民大行進」開催

「尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動」は「尹錫悦即刻退陣！ 社会大改革！ 汎市民大行進」を1月25日から毎週土曜日、8・9・10次とソウル市内で連続開催し、毎回10万人が結集する中、参加者は、内乱首謀者・尹錫悦の罷免・有罪・退陣を要求する声を一斉にあげた。

10次大行進では日本から参加した菱山南帆子氏(「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」共同代表)が力強く連帯のメッセージを伝えた。(活動報告「日韓プラットフォームが記者会見」参照)

非常行動では社会大改革特別委員会を設置し改革案を論議・準備中。9次大行進ではパク・レグン同委共同委員長が「わたしたちは現在、内乱勢力を追い出し、民主憲政秩序を打ち立てる闘いをしている。(※キャンドル革命後の積弊清算が不十分で尹政権を誕生させてしまった)8年前の誤りを繰り返してはならない。わたしたちが望む社会に向けてともに最後まで進もう」と訴えた。

国民のパワーを発揮しよう

尹錫悦は弾劾審判弁論に出席し持論を展開。提起されるすべての疑惑を全面否定しながら、「自由民主主義が信念」と強調し、戒厳宣言は「失敗した戒厳ではない」と強弁した上で、野党に対する警告ではなく「主権者の国民に向けたもの」と正当化を図った。

だが、これは主権者・国民に対する許しがたい挑戦であると同時に、憲裁の審理の場を利用して自らの主張を展開し、そのことを通じて、内乱勢力と支持者に向けてアピールするだけでなく、再び裁判所への暴動のような物理力行使が引き起こされるよう

間接的に扇動していると言っても過言ではない。特に最近では憲裁への批判・非難がエスカレートしており、罷免決定を承服せず、支持者による憲裁攻撃のための布石ではと指摘されている。

憲政秩序の破壊と内乱という重大犯罪行為に何の反省もないまま開き直り、自身の職務復帰まで企図する尹錫悦、そして「尹詣で」までして尹錫悦を徹底擁護し執権継続を狙う国民の力などの内乱勢力。国民はこれらの反民主勢力を決して許さない。

憲裁は迅速な審理で尹錫悦の罷免を決定

●「共に民主党」李在明代表の「司法リスク」



第1審判決（11・15）後、裁判所をあとにする李在明代表

第1野党「共に民主党」の李在明（イ・ジェミョン）代表に対しては現在、偽証教唆・公職選挙法違反・対北送金・大庄洞開発・慰礼新都市開発・柏峴洞開発・城南FC後援金・京畿道法人カード流用の8つの事件12の容疑で5件の裁判が4年にわたり進行中。

与党「国民の力」は執権継続を狙い、大統領選挙での有力候補である李氏に対して執拗に司法弾圧を加えている。裁判で有罪判決が確定すれば、李氏と同党にとっては最大級の政治危機となる。これが「李在明司法リスク」と呼ばれているもので、その中でも公職選挙法関連が最大のリスクだ。同事件

し、検察は早期に有罪へと追い込み、尹錫悦の退陣と内乱勢力の清算を実現しなければならない。

非常行動は継続して光の広場をつくりながら、社会大改革の準備も着実に推進している。円卓会議は院内外を網羅する尹退陣汎国民戦線の構築、さらには次期政権づくりの母体へと発展する可能性を持つものだ。国民のパワーをさらに強く高く広く発揮するときである。

（2025年2月12日）

で有罪判決が確定すれば、国会議員を失職し、被選挙権が10年間停止され、次期大統領選に立候補できなくなる。

選挙法違反事件の裁判は、1審は起訴後6カ月以内、2・3審はそれぞれ3カ月以内に行うよう規定されており、2024年1月15日に1審で有罪判決が出たため（後述）、2025年5月ごろまでには判決が確定しそうだ。

そのため、大統領選の時期を決定することになる憲法裁判所による尹錫悦（ユン・ソンニョル）の弾劾審理を巡り、司法リスクを避けるために「早期結審・弾劾罷免決定」を主張する共に民主党と、李代表の有罪確定後の大統領選を実現するために「審理遅延・さらには弾劾訴追却下」を画策する国民の力の間で、激しいせめぎ合いが展開されている。

次に紹介する通り、公職選挙法違反事件は1審で懲役1年・執行猶予2年の判決、偽証教唆事件は1審で無罪判決と異なる司法判断が出された。前者の控訴審が1月23日からソウル高裁で始まった。残る3件は依然として1審の裁判が続いている。

公職選挙法違反事件

ソウル中央地裁は2024年11月15日、公職選挙法違反で起訴された共に民主党代表の李在明氏に対し、懲役1年、執行猶予2年（求刑は懲役2年）を言い渡した。李氏は同日、控訴する方針を表明した。裁判では、過去に李氏が市長を務めた城南市で起きた土地開発事業を巡る不正事件などに絡み、李氏が大統領選期間に虚偽発言をしたかどうか争われた。地裁は、事業担当の職員と「一緒にゴルフに行ったことはない」と述べた李氏の発言や、別の土地の用途変更を巡り国土交通省の圧力があったとした李氏の主張を、「当選目的で虚偽事実を公表した」と認定。「有権者が正しい選択をできず、民意が歪曲され、選挙制度の機能と本質が損なわれる」と指摘した。李氏は判決後、記者団に「基本的な事実認定からとても受け

入れがたい結論だ」と述べた。

偽証教唆事件

ソウル中央地裁は2024年11月25日、公職選挙法違反事件の公判を巡り関係者に嘘の証言をさせたとして、偽証教唆の罪に問われた共に民主党代表の李在明氏に対し、無罪を言い渡した。求刑は懲役3年。地裁は判決で、2020年に無罪が確定した公職選挙法違反事件の公判を巡り、李被告が2018年12月に関係者に電話で証言を求めたとされることについて、「通常の証言要請と大きな違いはない」と指摘。「偽証教唆の故意があったとはみなし難い」との判断を示した。李氏は判決後、記者団に「真実と正義を取り戻してくれた裁判所に感謝する」と述べた。

（2025年2月12日）

●情勢短信

朝鮮が米政府を非難、トランプ政権発足後初めて



記者会見するルビオ米国务長官

朝鮮外務省の報道官は2月2日、談話を通じ、ルビオ米国务長官が米メディアとのインタビューで朝鮮を「ならず者国家」と述べたことに対し、「(朝鮮を)冒涇する妄言」だと反発し、米国を「最も不良な国家」と非難した。朝鮮中央通信が3日に報じた。第2次

トランプ米政権発足後、朝鮮が正式に米国を非難したのは初めて。声明は「米国の対外政策を総括する人物の敵対的な言動は何も変わっておらず、米国の対朝鮮敵視政策を改めて確認する契機になった」と強調し、「これを強力に糾弾し排撃する」と表明した。そして「朝鮮民主主義人民共和国に常に敵対的で、これからも敵対的であろう米国のいかなる挑発行為も決して黙過できない。これまでと同様に相応の強力な対応を取っていく」と警告した。トランプ氏は金正恩（キム・ジョンウン）国务委員長（朝鮮労働党総書記）との「親密な関係」を強調しながら、接触に意欲を示すが、朝鮮は第1期トランプ政権との交渉を総括し、敵視行為を継続する米政権を「相手にしない」としている。

長生炭鉱「追悼集会」開催、潜水調査も実施



犠牲者を追悼する遺族（「刻む会」ホームページより）

1942年2月3日に山口県宇部市の海底炭鉱「長生炭鉱」で発生した水没事故の犠牲者183人（朝鮮人136、日本人47）を追悼する集会が2月1日、跡地近くの「追悼ひろば」で、地元の市民団体「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の主権により開催された。刻む会の井上洋子共同代表をはじめとする同会メンバー、韓国遺族会の楊玄（ヤン・ヒョン）会長ら韓日の遺族、韓日の行政担当者、社会民主党党首の福島みずほ参院議員ら国会議員、同胞、日本人約450人が参加し、犠牲者の冥福を祈ると共に、日本政府に対し遺骨の収容、返還を強く求めた。あわせて潜水調査が前日まで3日間実施された。遺骨や遺品は発

見されなかったが、刻む会では調査状況を踏まえ、4月に3回目の潜水調査を計画している。

「日朝全国ネット」発足、日朝交流の促進を図る

日本と朝鮮の民間交流を促進することを目的とした全国組織「日本と朝鮮を結ぶ全国ネットワーク」（日朝全国ネット）が2月8日、都内で結成総会を開催し発足した。結成総会には、平和フォーラムをはじめとする日朝友好連帯団体の代表やメンバー、朝鮮総連幹部らが出席した。総会では日朝国交正常化、在日朝鮮人の権利確立、東北アジアの平和と安定を活動方針として確認。保坂正仁（日朝議連共同代表）、中村元気（福岡県日朝友好協会会長）、藤本康成（平和フォーラム顧問）の3氏が共同代表に就任した。朝鮮総連の朴久好（パク・クホ）第1副議長は来賓あいさつで「朝日友好交流と関係正常化、朝鮮半島の反戦平和のための運動史に新しい1ページを刻む画期的なできごと」と強調し、日朝全国ネットとの連帯を表明した。朝鮮政府も祝電を送った。

활동보고 活動報告

●各地で尹錫悦退陣闘争を展開…尹錫悦の早期罷免を要求

大阪

韓統連大阪本部と韓青大阪府本部は1月25日と2月8日に、JR鶴橋駅前で「尹錫悦（ユン・ソンニョル）弾劾、韓国民衆のたたかいを応援し、朝鮮半島と東アジアの平和な未来を築こう！ 韓日民衆連帯アクション at 鶴橋」を開催。韓統連、韓青のメンバーをはじめ在日同胞、留学生、日本人が参

加した。

25日のアクションでは韓青兵庫県本部の朴偕泰（パク・ヘテ）氏がアピール。「尹錫悦は政権発足直後から朝鮮に対する強硬発言を繰り返して戦争の危機を煽った。尹錫悦を弾劾して平和を実現しよう」と訴えた。韓国から遠征闘争中の韓国オプティカル労組のメンバーからも参加しアピール。同労組を

支援するイ・フン氏は「戒厳令が出された日、わたしは戒厳令に驚いて国会前に行った。そして多くの市民と共に声がつぶれるくらいの大声で『尹錫悦弾劾！』を叫んだ。必ず尹錫悦を弾劾しよう」と訴えた。



地域住民に訴える参加者たち（大阪）

8日のアクションでは韓統連大阪の李鐵（イ・チョル）常任顧問がアピール。「尹錫悦は12月3日、戒厳令を公布し軍隊を動員して自らの政敵を抹殺しようとしたが、多くの市民の抗議によって失敗に終わった。しかし尹錫悦は未だに自分が犯した罪を認めていない。必ず尹錫悦を退陣させよう」と訴えた。

アクションでは、参加者が「尹錫悦は即刻罷免！」のプラカードを持ちアピールすると共に、韓青大阪の朴槿洙（パク・クンス）常任委員のギターに合わせて参加者全員で「アチミスル（朝露）」を合唱し、参加者の一体感とアクションの雰囲気盛り上げた。

●韓国オプティカル労組が日本に遠征闘争…各地で韓統連が連帯

「韓国オプティカル労組を支援する会」は1月26日、広島市内で活動報告会を開催。韓統連広島本部のメンバーが参加した。

支援する会の大畑龍次氏が同労組の闘いをスライドで紹介。現在の韓国の労働運動及び社会変革運動には、韓国女性たちの特筆すべき意識と行動力が大きな役割を担っ

愛知



応援棒を持ちながら訴える参加者たち（愛知）

2月8日、名古屋市内でニューカマー同胞が中心となり6回目の尹錫悦罷免・退陣を要求する街頭情宣が展開され、韓統連愛知本部のメンバーが参加した。

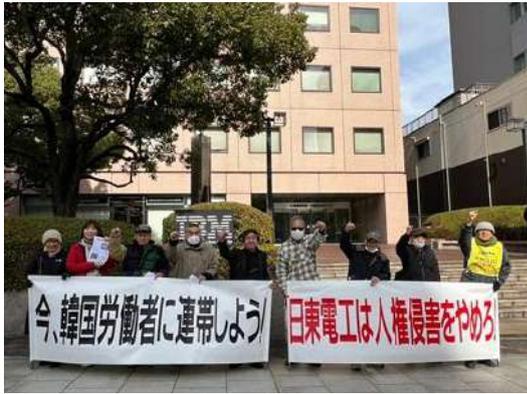
参加者は雪が降る中、歌や踊りを織り交ぜながらアピール。

韓統連愛知本部の金源道（キム・ウォンド）事務局長がアピール。「韓国民衆の力によって尹錫悦は間違いなく罷免されるだろう。だからこそ、今から次の大統領選挙に備えていかななくてはならない。わたしたちの力で、これから真つ当な韓国をつくっていきましょう」と強調。ニューカマーの参加者は「娘の卒業旅行で友達とソウルに行く事になっていたが、日本人の友人から怖くて行けないと言われた」と怒りの声を上げ、「こんな韓国にした尹錫悦は絶対に許せない、早く罷免しよう」と訴えた。

ている事を指摘した。

広島本部の朴隆宏（パク・ユングァン）副代表委員が連帯あいさつ。「尹錫悦（ユン・ソンニョル）による戒厳令宣布は、全斗煥（チョン・ドゥファン）による光州弾圧と繋がる暴挙だ。尹錫悦は逮捕されたが、罷免を求める民衆と戒厳内乱勢力の闘

いは、これからますます激しくなるだろう」とし、韓日民衆の連帯を訴えた。



日東電工に対して抗議する参加者たち（広島）

翌27日には広島市南区稲荷町にある日東電工関連会社前で緊急の要請行動を実施。「日東電工の100%子会社である、韓国オプティカルの偽装倒産と食い逃げを許さないぞ！」など不法不当な人権侵害を訴えた。

●神奈川本部が情勢学習会を開催…李俊一事務長が報告



主催者あいさつする文世賢代表委員

韓統連神奈川本部は1月26日、川崎市内で情勢学習会を開催した。文世賢（ムン・セヒョン）代表委員が主催者あいさつ。「今年は尹錫悦（ユン・ソンニョル）退陣からの大統領選挙、光復80周年と非常に重要な節目の年だ。正しい情勢分析に基づき、わたしたちの今年の運動課題を論議していこう」と語った。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）事務長が

東京では27日に品川駅前で行った宣伝行動を展開。韓統連の李俊一（イ・チュニル）事務長は「日東電工は支援者を不当な理由で裁判所に訴え弾圧している。許しがたい暴挙だ」と日東電工を糾弾。「韓国では労働者が中心となって尹錫悦政権を打倒しつつある。わたしたちの団結した力は必ず巨大な権力に勝利できる。勝利の日まで共に闘っていこう」と訴えた。その後、「支援する会」は日東電工東京本社に申し入れようとしたが、会社側は建物エレベーターを封鎖し拒否。参加者から怒りの声が上がった。

韓国では2月7日から3月1日まで、韓国オプティカル労組の7名の解雇労働者の雇用継承を求め、亀尾工場から平澤工場を経て、ソウル国会まで「希望徒歩大会」が行われている。

報告。2025年の運動目標として△尹錫悦退陣・民主政権樹立を実現し、社会大改革を推進しよう△光復80年、韓米日軍事同盟に反対し朝鮮半島と東アジアの平和を実現しよう△韓日条約60年、過去清算に基づく主権尊重・互惠平等の韓日関係を構築しよう△自主・民主・統一を堅持し、統一に向けて組織を強化しようを提示。

韓国情勢について「尹錫悦の弾劾、逮捕を最後まで妨害した国民の力と極右勢力は、内乱の共犯にほかならない。司法の決定をただ待つのではなく、これら内乱勢力を徹底的に清算することが必要だ」「韓国の旧悪を一層し、民主主義を回復してこそ、平和統一への道も開かれていく。光復80年、韓日条約60年という契機性を最大限活かし、全力で自主・民主・統一運動を前進させていこう」と強調した。

学習会後、文代表から神奈川本部の運動方針・事業計画が提起され、参加者全体で共

有した。

●大阪本部が韓統連セミナーを開催…金昌範代表委員が報告



報告する金昌範代表委員

韓統連大阪本部は1月26日、大阪市内で〈第1回韓統連セミナー2025～朝鮮半島と日本の80年～その1「8・15解放、自主独立に向かう祖国と日本」〉を開催した。

大阪本部の金昌範（キム・チャンボム）代表委員の主催者あいさつ後、崔誠一（チェ・ソンイル）事務局長が韓国情勢を報告。崔事

務局長は、尹錫悦（ユン・ソンニョル）逮捕と弾劾訴追案を審判する憲法裁判所審議の進行状況などを解説し「尹錫悦は内乱罪で起訴され裁判で裁かれることになる。4月に憲裁の裁判官2名が退任する予定なので、それまでに罷免か否かの判決が出るだろう」と語った。

金代表委員が「解放祖国と敗戦日本」をテーマに報告。カイロ会談（1943年）からの朝鮮半島の戦後処理について「日本の敗戦により解放国となったはずの祖国が南北に分断されたのは、米国が日本の安定統治とソ連のアジアでの影響力を阻止することを優先した結果だ」と指摘。祖国の自主独立に向けた動きと、それを阻止しようとする米国の関与を解説しながら「南では解放祖国を自主的に運営する権利を米国に奪われた」と語った。

●尾澤孝司氏裁判、最高裁が棄却…不当判決に抗議



アピールする李俊一事務長

「韓国サンケン労組を支援する会」「尾澤孝司裁判を支援する会」「尾澤孝司さんを支える会」は2月4日、最高裁正門前で「サンケン弾圧ー尾澤裁判 最高裁上告棄却大抗

議行動」を展開した。最高裁は昨年12月24日、尾澤孝司氏の上告を棄却している。

尾澤氏がアピール。「最高裁はたった3週間でわたしたちの訴えを棄却した。いったい何を検討したというのか。控訴審では被告抜きで判決が出されており、全く不当だ。裁判所の行為は憲法に違反している」と怒りをあらわにした。

これまで裁判を支えてきた団体が次々と怒りの声をあげる中、韓国から日本に遠征闘争中の韓国オプティカル労組のチェ・ヒョンファン支会長がアピール。「尾澤氏はわたしたちの闘いにも連帯しているが、親会社である日東電工はサンケン電気同様、尾

澤夫妻を弾圧してきている。決して許すことはできない」「わたしたちの闘いの勝利によって、弾圧をなくしていきたい」と強調した。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）事務長がアピール。「今回の不当判決の背景には、韓日の労働運動を敵視する企業や政府の思惑がある。政府や企業に付度する裁判所に、法の番人たる資格はない」と糾弾。「韓国では

尹錫悦（ユン・ソンニョル）を罷免、処罰するために民衆が常に司法を監視している。今日を出発として裁判所の問題を拡散させ、歪んだ司法を正していこう」と語った。

尾澤邦子氏が閉会あいさつ。「裁判所は公平・公正ではなく、不公平・不公正なところであると実感した。裁判所に正義はない！」と強調。不当判決に抗議した。

●日韓プラットフォームが記者会見…尹錫悦退陣民主化闘争に連帯



報告するパク・ソグン共同代表

「日韓和解と平和プラットフォーム」（日韓プラットフォーム）などは2月5日、「2・5日韓市民と国会議員の院内集会&記者会見『私たちは尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣民主化闘争に連帯します』」を開催し、韓国から市民社会運動の代表らが参加した。

日韓プラットフォームはこの間、尹錫悦の戒厳令宣布後、退陣運動を展開する韓国市民に連帯し記者会見や署名運動などを展開。署名には約140団体が賛同している。

「尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動」のパク・ソグン共同代表がこの間の尹政権退陣運動について報告。「尹錫悦が奇襲的に戒厳令を宣布したが、市民の抵抗と国会議員の迅速な解除決議で親衛クーデターは失敗に終わった。12月11日には全国の1500団体が参加する非常行動が結成され、紆余曲折ありながらもついに尹錫

悦は拘束・起訴された」と強調。「2月末には尹錫悦罷免が宣告され、その後大統領選挙が行われる見通しだ。内乱終息後は、社会大改革が大きな課題だ。社会大改革を市民と共に公論化していかななくてはならない。平和と人権を愛する日本の市民の皆さんにも連帯を訴える」と強調した。

韓国からは韓国YMCA全国連盟のキム・ギョンミン事務総長、韓国オプティカル労組のチェ・ヒョンファン支会長がアピールした。

日本側からは「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の小田川義和氏、ジャーナリストの布施裕仁氏、日韓民衆連帯全国ネットワークの渡辺健樹共同代表、総がかり行動実行委員会の菱山南帆子共同代表、「平和をつくり出す宗教者ネット」の武田隆雄共同代表がアピール。菱山氏からは2月8日にソウル光化門で開催される「尹錫悦即刻退陣！社会大改革！10次汎市民大行進」に参加することが報告された。

国会議員では共産党の小池晃、山下芳生参院議員、立憲民主党の藤原規眞、尾辻かな子衆院議員、社民党の福島みずほ、大椿ゆうこ参院議員が連帯あいさつした。

集会後、記者会見が行われた。

●活動レポート

JAL 争議解決を求め月例宣伝行動



解雇争議解決を求める参加者たち

日本航空（JAL）解雇争議の解決を求める月例宣伝行動が1月28日、都内・錦糸町駅前で行われた。JAL被解雇者労働組合（JHU）の山崎書記長は「JALはモノ言

う労働者を排除し、安全を軽視し、人権を侵害している」と指摘した上で、「わたしたちは労働者の権利と空の安全、そして平和を守る」と強調し、JALに対し△希望者全員の原職復帰△解決金△謝罪を求めた。韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長が「労働者の権利を主張し要求する民主労総を弾圧した尹錫悦（ユン・ソンニョル）はついに逮捕された。モノ言う労働者の口を封じることにはできない」と連帯アピールした。JHUは東京都労働委員会に対するJALと国土交通省の不当労働行為救済命令を求める団体署名への協力を呼びかけている。詳細は<https://jhu-wing.main.jp/>

행사예정 行事予定

2月

「尹錫悦逮捕・退陣・内乱一掃」キャンペーン(三重)

日時：2月16日（日）正午 場所：近鉄四日市駅前 内容：プラカード・マイクアピール
他 主催：韓統連三重本部、韓青三重県本部 連絡先：080-5112-6876（丁）

尹錫悦弾劾、韓国民衆のたたかいを応援し、朝鮮半島と東アジアの平和な未来を開こう！ 韓日民衆連帯アクション(大阪)

日時：2月22日（土）午後6時～7時 場所：ヨドバシカメラ梅田店前（南東エリア） 内容：プラカード・マイクアピール他 主催：韓統連大阪本部、韓青大阪府本部 連絡先：090-3822-5723（崔）

3月

第60回韓青全国冬期講習会

期間：3月14日（金）～16日 場所：横浜上郷森の家 内容：グループディスカッション、レクリエーション、民族文化マダン他 参加費：一般25,000円 学生19,800円 主催：韓青中央本部 連絡先：03-4400-5331（韓）

内乱首謀者である尹錫悦に対する憲法裁判所の審理が進んでいますが、尹錫悦の発言には一切の反省がなく、自己弁護と責任転嫁に終始しています。本当にあきれられるばかりで、改めてこのような人物に大統領の資格はないと強く思います。一刻も早い罷免と処罰を（李）



横浜 上郷森の家

2025 3/14 Fri — 3/16 Sun

全国発



春は星のきらめく横浜へ! 在日コリアン青年のための特別企画

第60回 韓青全国冬期講習会

코리아 青年モイム 2025



在日コリアン青年が
出会う

参加者全員在日コリアン青年の民族空間がこのイベント最大の魅力です。「在日コリアン同士の出会い」「民族との出会い」が待っています。同じ在日コリアンの友だちが欲しい、会ってみたい、そんなあなたの参加をお待ちしています。

自分のルーツを
学ぶ

韓青のキャンプでは「在日コリアンの歴史」や「いま韓国で起きていること」について学ぶ講演企画を行います。講演企画で在日コリアンである自分自身をよく知り、グループディスカッションを通じて同じルーツを持つ仲間と語り合えます。

自分の民族を
感じる

歌や踊り、楽器と言った民族の文化や祖国の言葉と触れる企画を用意しています。普段の生活ではなかなか触れる機会が無い祖国の様々な文化を、ともに参加した仲間たちと共に感じるすることができます。

参加対象 16～35歳の朝鮮半島にルーツを持つ在日コリアン青年
■国籍不問 ※韓国籍・朝鮮籍・日本国籍(帰化した方)など
■ハーフ/ダブル歓迎 ※両親のどちらかが日本人など

お申し込みお問合わせ 電話 **03-4400-5331**
メール **chuo@hanchung.org**

参加費 一般 **25,000円**
学生 **19,800円**
対象:高校生・大学生・専門学校生
宿泊費・食費
企画費
交通費(一部地域)込

第60回 韓青全国冬期講習会 コリア青年モイム 2025

■日程:2025年3月14日(金)～16日(日)【2泊3日開催】 ■場所:横浜市上郷・森の家(〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町1499-1)

主催 在日韓国青年同盟 ○〒110-0016 東京都台東区台東4-31-7 ラミアール御徒町302 ○Tel:03-4400-5331 ○E-mail:chuo@hanchung.org

最新情報は
公式サイトへ
申込みが便利です



はんちゃん 検索

コリア 青年モイム 2025

全国から
参加可能

3/14
Fri

在日コリアン青年が
仲間と出会う一日目



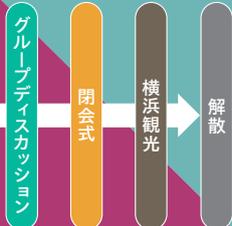
3/15
Sat

文化と学び
民族のルーツを感じる二日目



3/16
Sun

思い出を振り返り
再会を誓う三日目



※上記スケジュールは予告なく変更される場合があります。ご了承ください。変更より詳細なスケジュールはホームページにて公開・更新する予定です。またはお気軽にお問い合わせください。※上記スケジュールは簡易版です。上記の合間に食事や入浴、休憩時間などが入ります。※催行中は企画担当者、司会進行担当などの指示に従うようお願いいたします。また宿泊施設では施設の規則に従うようお願いいたします。



韓青で、在日コリアンの自分を思いっきり楽しもう!



韓青とは?

在日韓国青年同盟 (略称: 韓青=はんちゃん) は16~35歳の朝鮮半島にルーツを持つ在日コリアン青年が集う団体です。国籍や背景も様々で、在日コリアンと日本人親を持つダブルの青年や、韓国生まれのニューカマー同胞の仲間もいます。私たちは在日コリアン青年が民族的ルーツに自信を持ち堂々とと言えるような社会を作ることを目的として、全国各地で活動しています。在日コリアン青年が出会い、集まる場として日常的に活動しているほか、朝鮮半島の自主的平和統一を求める運動、在日コリアン青年と祖国をつなぐ活動をしています。



韓青の定期開催イベントのご紹介

韓国語教室

韓青では各地方でウリマル(韓国語)教室を開催しています。講師も生徒と同じ在日コリアンだからこそ、韓国語習得でつまずポイントやコツについて熟知し、効率的に学習することが出来ます。また言葉の習得を通じて、在日コリアンの「民族的アイデンティティ」を確立することを目的とした、韓青独自のプログラムをご用意しています。



学習会・交流会

韓青では学校教育では学ぶ機会の無い、民族の文化や歴史を学ぶ各種学習会を開催しています。学習会を通じて民族性を身につけることで、在日コリアンである自分に自信を持って生きようになれる。また地方の垣根を超えた交流会も定期的実施しており、全国に同じルーツを持つ仲間を作ることが出来ます。



訪韓事業

韓青では全国の仲間と共に韓国を訪れる訪韓事業を行っています。普通の韓国旅行では行かないような、民族の歴史を辿るツアーや韓国の青年との交流会など、韓青独自のプログラムで祖国と民族を体験することが出来ます。韓国語に不安があっても、経験豊富な専門のスタッフが丁寧にサポートいたします。



ポイントとご注意 ●16歳(高校1年生相当)から35歳までの朝鮮半島にルーツを持つ在日コリアン青年が対象です。国籍不問(帰化して日本国籍など)、ハーフ・ダブル歓迎(両親どちらかが在日コリアンなど) ●催行日程は2025年3月14日(金)・15日(土)・16日(日)の3日間になります。開始は3月14日(金)に参加者が集合し、宿泊施設での開会式から開始となります。●参加費は当日徴収します。交通費精算は別途行方ので必ず参加費をご持参ください。●交通費精算には上限があります。事前にホームページや最寄りの韓青本部にてご確認ください。●途中参加費は参加費から宿泊費と食費を抜いた実費になります。詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。●催行30日前からキャンセル料が発生します。30日~2日前(2月14日~3月12日)まで:参加費の90%返還 前日~当日(3月13日~3月14日)まで:参加費の50%返還 ●事前申込にご協力ください。ホームページからのWeb申込、あるいは最寄りの韓青本部にて申込書に必要事項を記入して提出してください。●企画内容やスケジュールは予告なく変更される場合があります。ホームページでご確認いただくか、下記連絡先までお問い合わせください。●催行中は原則的に禁酒です。喫煙は指定場所にてお願いします。

在日韓国青年同盟

〒110-0016
東京都台東区台東4-31-7 ラミアル御徒町302
Tel:03-4400-5331 Mail:chuo@hanchung.org

■東京本部 関東地域
東京都台東区台東4-31-7 ラミアル御徒町302

■京都府本部 関西地域
京都府京都市南区東九条上御霊町64-1 きょうとユニオン会付

■愛知県本部 東海地域
愛知県名古屋市中区錦1-16-9 まいかとるビル3F

■大阪府本部 関西地域
大阪府大阪市生野区桃谷3-13-6

■三重県本部 東海地域
三重県四日市市新正1-10-19 新正コーポ久志木101

■兵庫県本部 関西地域
兵庫県尼崎市七松町3-3-13 1階

在日韓国青年同盟WEBサイト



WEBお申込みは左記のQRコード、もしくはwww.hanchung.orgから!!

はんちゃん 検索

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。